

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ブイ・テクノロジー  
 コード番号 7717 URL <http://www.vtec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 重人

問合せ先責任者 (役職名) 企画部 広報IR課長 (氏名) 河原 拓

四半期報告書提出予定日 平成22年11月8日 配当支払開始予定日

TEL 045-338-1980  
 平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	10,811	17.6	1,879	45.3	1,832	44.2	1,127	34.2
22年3月期第2四半期	9,195	51.4	1,293	288.4	1,270	301.4	840	198.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	24,179.60	24,157.85
22年3月期第2四半期	18,238.21	18,216.46

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	16,688	7,983			47.5	169,408.80
22年3月期	19,978	6,926			34.5	148,548.41

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 7,926百万円 22年3月期 6,896百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	1,250.00	—	3,750.00	5,000.00
23年3月期	—	1,875.00			
23年3月期 (予想)			—	1,875.00	3,750.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成22年3月期の期末配当には特別配当2,500円が含まれております。

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	13.3	2,600	14.4	2,600	18.6	1,600	6.9	34,193.87

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 47,540株 22年3月期 47,172株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 748株 22年3月期 748株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 46,647株 22年3月期2Q 46,070株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であり、

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 連結業績予想の1株当たり当期純利益は、当第2四半期連結会計期間末の株式数（自己株式を控除）により計算しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前半は景況感の改善が一段と進みましたが、後半はこれまで景気を牽引してきた輸出が中国経済の減速などの影響で伸び率を徐々に縮小させており、それに伴い全体的に景況感の改善ペースは緩やかになり、今後の業況に対する見方も慎重姿勢が強まる状況で推移いたしました。

当社グループの関連するフラットパネルディスプレイ(FPD)市場は、日本ではエコポイント効果が認められたものの、世界的なLCD-TV需要としては徐々に想定を下回り、パネル価格も下落基調で推移いたしました。

設備投資に関しては、主に中国中心の動向となりましたが、遅延化の傾向が見られました。

このような環境の中、当社グループは、検査関連装置については主に中国及び韓国向け案件での商談成約に向けた活動を、露光装置については海外パネルメーカーを中心に拡販活動を行ってまいりました。

受注状況は、主に韓国及び中国向けの検査関連装置の受注並びに海外パネルメーカー向けの露光装置の受注を獲得しております。この結果、受注額は128億5千9百万円(前年同期は110億3千1百万円)、受注残高は111億9千8百万円(前年同期は127億5千5百万円)となりました。

販売状況は、主に韓国・台湾・中国向けの検査関連装置及び国内向けの露光装置などの受注を順調に消化した結果、売上高は108億1千1百万円(対前年同期比17.6%増)となりました。

費用面では、引き続き原価低減及び経費抑制活動並びに製造コスト管理の強化に注力いたしました。

販売費及び一般管理費については、前年同期と比べ、研究開発費が1億3百万円増加、中国市場向け売上に伴う代理店手数料が7千6百万円増加したものの、製品保証引当金繰入額が2億8千万円減少し、全体では7百万円減少しております。

この結果、連結営業利益は18億7千9百万円(対前年同期比45.3%増)、連結経常利益は18億3千2百万円(対前年同期比44.2%増)、連結四半期純利益は11億2千7百万円(対前年同期比34.2%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ32億8千9百万円減少し、166億8千8百万円となりました。主に「現金及び預金」の増加29億6千9百万円、「売掛金及び受取手形」の減少35億3千7百万円、「仕掛品」の減少22億9千3百万円によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ43億4千6百万円減少し、87億5百万円となりました。主に「支払手形及び買掛金」の減少19億1百万円、「短期借入金」の減少23億5千万円によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億5千6百万円増加し、79億8千3百万円となりました。主に当第2四半期連結累計期間の連結四半期純利益11億2千7百万円によります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、29億7千7百万円増加し、37億6千5百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動の結果取得した資金は、53億9千3百万円(前年同期は30億7千2百万円の取得)となりました。資金の取得は、主に売上債権の減少額33億6千7百万円、棚卸資産の減少額23億3千2百万円、税金等調整前当期純利益18億2千5百万円により、資金の使用は、主に仕入債務の減少額17億6千9百万円によります。

投資活動の結果使用した資金は、4千7百万円(前年同期は8千2百万円の使用)となりました。主に有形固定資産の取得による支出額3千9百万円によります。

財務活動の結果使用した資金は、23億5千1百万円(前年同期は20億8千2百万円の使用)となりました。主に短期借入金の返済額23億5千万円によります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、本資料発表現在、当社が入手可能な情報に基づいて作成しております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は1百万円、税金等調整前四半期純利益は12百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始により、投資その他の資産の「その他」が11百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,840	870
受取手形及び売掛金	10,003	13,541
商品及び製品	20	23
仕掛品	1,359	3,653
原材料	302	393
その他	582	852
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	16,096	19,319
固定資産		
有形固定資産	258	301
無形固定資産	122	136
投資その他の資産		
破産更生債権等	110	110
その他	210	221
貸倒引当金	△110	△110
投資その他の資産合計	210	221
固定資産合計	591	659
資産合計	16,688	19,978
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,986	7,888
短期借入金	1,000	3,350
未払法人税等	649	334
製品保証引当金	193	425
引当金	123	113
その他	690	890
流動負債合計	8,643	13,002
固定負債		
引当金	61	49
固定負債合計	61	49
負債合計	8,705	13,051

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,408	2,322
資本剰余金	2,064	1,978
利益剰余金	3,776	2,822
自己株式	△125	△125
株主資本合計	8,123	6,997
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3	△1
繰延ヘッジ損益	△8	1
為替換算調整勘定	△185	△102
評価・換算差額等合計	△196	△101
新株予約権	56	30
純資産合計	7,983	6,926
負債純資産合計	16,688	19,978

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	9,195	10,811
売上原価	6,553	7,592
売上総利益	2,641	3,219
販売費及び一般管理費	1,347	1,339
営業利益	1,293	1,879
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	3
その他	3	2
営業外収益合計	8	5
営業外費用		
支払利息	23	6
為替差損	3	45
その他	6	0
営業外費用合計	32	52
経常利益	1,270	1,832
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1
国庫補助金	7	4
特別利益合計	7	6
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	7	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	11
固定資産圧縮損	1	—
その他	0	—
特別損失合計	8	13
税金等調整前四半期純利益	1,269	1,825
法人税、住民税及び事業税	556	619
法人税等調整額	△127	78
法人税等合計	429	697
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,127
四半期純利益	840	1,127



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,269	1,825
減価償却費	69	69
株式報酬費用	3	25
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	9
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	149	△229
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6	12
受取利息及び受取配当金	△5	△3
支払利息	23	6
為替差損益 (△は益)	0	3
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	0
有形固定資産除却損	0	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12
無形固定資産除却損	6	—
固定資産圧縮損	1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,710	3,367
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,202	2,332
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	35	170
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	1	△3
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	0	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	569	△1,769
前受金の増減額 (△は減少)	2,572	△150
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	61	13
小計	3,261	5,692
利息及び配当金の受取額	5	3
利息の支払額	△22	△6
法人税等の支払額	△172	△295
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,072	5,393
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△62	△0
定期預金の払戻による収入	76	—
有形固定資産の取得による支出	△42	△39
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△52	△5
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△0	△2
貸付金の回収による収入	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82	△47

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	23,750	6,050
短期借入金の返済による支出	△25,550	△8,400
長期借入金の返済による支出	△300	—
株式の発行による収入	74	172
配当金の支払額	△57	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,082	△2,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	911	2,977
現金及び現金同等物の期首残高	409	788
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,320	3,765

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループは、FPD事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。